

企画展

「ちひろさんの子どもたち」

谷川俊太郎×トラフ建築設計事務所

2019年8月2日(金)～10月27日(日)

主催：ちひろ美術館 特別協賛：株式会社ジャクエツ
 協賛：小野谷機工株式会社 協力：川口恵子、株式会社講談社、
 株式会社伊千呂、九州フィールドワーク研究会、三和化工株式会社、
 福永紙工株式会社



1. 赤い帽子の男の子 1971年

「ちひろさんの子どもたち」

ちひろさんの子どもたちは
 赤んぼのようにまっさらで
 大人よりいっしょけんめい考える
 女の子はいつもすっぴん
 男の子は戦争がきらい

ちひろさんの子どもたちは
 手足のびのびいっぱい遊ぶ
 昼間は本を読む 夜は宇宙を読む
 友だちには子どもだけでなく
 おじいさんやおばあさんもいる

ちひろさんの子どもたちは
 悲しい時は堂々と泣く
 怒っても悪口は言わない
 うれしい時はみんなと笑う
 花や小川や紋白蝶もいっしょに



2. 蝶とあかちゃん 1971年



3. 月を見る少年 1970年

谷川俊太郎 2018年

詩人として長年第一線で活躍している谷川俊太郎は、その幅広い詩作のなかで、子どもに向けた詩や、子どもの目線で書いた詩も数多く手がけてきました。谷川俊太郎の詩が、いわさきちひろの絵のなかの子どもたちに、新たないのちを吹き込みます。

また、トラフ建築設計事務所が、ちひろが描く夏の子どもの麦わら帽子から発想し、帽子型の「子どものへや」をつくります。ここでは、ちひろと谷川俊太郎の世界を体験できるさまざまな催しも開催します。子どもはもちろん、大人も楽しい展示空間が広がります。

谷川俊太郎といわさきちひろ

谷川俊太郎が詩を書き始めて70年余り。ごく身近なものから、無限の宇宙まで、あらゆるものを詩によんできました。谷川は、年を重ねることを木の年輪のようにとらえ、今の自分のなかに、子どもの自分の存在を見えています。子どもに向けた詩や子どもをうたった詩、子どものことばで書いた詩など、谷川俊太郎の“子どもの詩”をちひろの絵とともに展示します。



4. 湯あがりのあかちゃん 1971年

ほっぺたのはらに あめがふる
おでこがおかに あめがふる
はなのやまにも あめがふる
めとめのいけにも あめがふる

たおるで ふいたら
あおぞら みえた

『めの まど あけろ』(福音館書店)より 1981年



『なまえをつけて』 詩・谷川俊太郎 絵・いわさきちひろ
講談社 2018年刊

『なまえをつけて』

——ちひろの描いた子どもたちがおしゃべりをはじめる！

詩によって老若男女だれにでも自在になれる谷川俊太郎が、ちひろの絵に詩を寄せた絵本『なまえをつけて』が、ちひろの生誕100年を機に刊行されました。絵本をひらくと、男の子も女の子も、あかちゃんも、絵のなかの子どもたちひとりひとりが、こちらをまっすぐに見つめて、いきいきとしたおしゃべりを始めます。



5. スケッチブックを持つ青い帽子の少女(部分) 1971年

どっかへいこうよ
いっしょにいこうよ
はしっていこうよ
ちきゅうのうえを！

『なまえをつけて』(講談社)より 2018年



6. 花の精(部分) 1970年頃

とけてしまいそう
ほんとにうれしいとき
だれとでもなんとでも
なかよくなって
おおきなおおきな
ひとつにとけこんでしまいそう

『なまえをつけて』(講談社)より 2018年

いわさきちひろ Iwasaki Chihiro

1918 ~ 1974

福井県武生(現・越前市)に生まれ、東京で育つ。東京府立第六高等女学校卒。1950年、紙芝居「お母さんの話」を出版、文部大臣賞受賞。同年、松本善明と結婚、翌年、長男猛を産む。1956年小学館児童文化賞、1961年産経児童出版文化賞、1973年『ことりのくるひ』(至光社)でポローニャ国際児童図書展グラフィック賞を受賞。1974年肝臓ガンのため死去。享年55歳。

谷川俊太郎 Tanikawa Shuntaro

1931 ~

東京生まれ。1952年第一詩集『二十億光年の孤独』を刊行。1962年「月火水木金土日の歌」で第4回日本レコード大賞作詞賞、1975年『マザー・グースのうた』で日本翻訳文化賞、1982年『日々地図』で第34回読売文学賞、1993年『世間知らズ』で第1回萩原朔太郎賞、2010年『トロムソコラージュ』で第1回鮎川信夫賞など、受賞・著書多数。詩作のほか、絵本、エッセイ、翻訳、脚本、作詞など幅広く作品を発表。近年では、詩を釣るiPhoneアプリ『谷川』や、郵便で詩を送る『ポエメール』など、詩の可能性を広げる新たな試みにも挑戦している。



トラフの「子どものへや」 ——ちひろの好きな「帽子」が、子どものへやになる！

ちひろの絵には、帽子のモチーフが数多く登場します。その形や色も、場面によってさまざま、絵のなかの子どもたちの心境も表しているように見えます。帽子は子どもにとって、一番身近な家、あるいはへやのように安心感を与えてくれるものなのかもしれません。少し大きければ、すっぽり隠れる自分だけの特別なへやになるのです。そんなすてきな子どものへやを、帽子をモチーフにつくってみたいと思いました。

トラフ建築設計事務所

トラフ建築設計事務所は、ちひろの絵のなかのたくさんの子どもの帽子をかぶっていることに着目して、大きな麦わら帽子の形の「子どものへや」を設計しました。なかに入って、参加して楽しめるワークショップスペースです。ここで、絵本のじかんやワークショップなどを行います。会期中、谷川俊太郎の、帽子にまつわる新作詩も発表します。



7. かにを持つ少年 1969年



8. トラフ建築設計事務所 子どものへや 2018年 撮影：三嶋義秀 安曇野ちひろ美術館にて



9. トラフ建築設計事務所 空気の器 撮影：三嶋義秀

空気を包み込むようにかたちを自由に変えられる「空気の器」は、トラフの代表的なプロダクトです。ちひろ生誕100年を機に、ちひろバージョンの「赤い帽子」「にじみと帽子」「ぼうしのある風景」の3種ができました。美術館の建物のなかに「空気の器」のインスタレーションも広がります。



トラフ建築設計事務所

鈴野浩一と禰真哉により2004年に設立。建築の設計をはじめ、インテリア、展示会の会場構成、プロダクトデザイン、空間インスタレーションやムービー制作への参加など多岐に渡り、建築的な思考をベースに取り組んでいる。「光の織機（Canon Milano Salone 2011）」は、会期中の最も優れた展示としてエリートデザインアワード最優秀賞に選ばれた。2015年「空気の器」が、モントリオール美術館において、永久コレクションに認定。

トラフの「子どものへや」でのイベント

- ちひろとコラボレーション [帽子を描こう]
 - 谷川さんとコラボレーション [詩を書こう]
- 8/2(金)~10/27(日) *参加自由・無料
- 帽子のなかの絵本のじかん
- 毎月第2・4土曜日 11:00~ *参加自由・無料
※本展開催中は、展示室4にて開催します。



2019年8月2日(金)～10月27日(日) 会期中のイベント

展覧会関連イベント

●トラフによるアーティストトーク

8/3(土) 15:30～17:00

講師：鈴木浩一(トラフ建築設計事務所)

対象：一般 定員：60名 参加費：600円(別途入館料)

*要申し込み 7/3(水)受付開始

●ワークショップ「空気の器」に絵を描こう

8/31(土) 10:30～/11:30～/12:30～

水彩絵の具の「にじみ」で模様をつけて、オリジナルの空気の器をつくりまします。

対象：小学生以上 定員：各回8名

参加費：500円(材料費/別途入館料)

●谷川俊太郎 × 谷川賢作コンサート

9/8(日) 13:00～14:30

対象：小学生～大人

定員：300名

場所：練馬区立下石神井小学校 体育館

*詳細はHPでお知らせします。



© 深堀瑞穂

●松本猛ギャラリートーク

8/25(日) 15:30～

講師：松本猛(ちひろ美術館常任顧問) *参加自由、無料

●ギャラリートーク

毎月第1・3土曜日 14:00～ *参加自由・無料

●ちひろ忌 8/8(木) 入館無料

ご来館の方に、ちひろのこぼれカードをさしあげます。

●敬老の日 9/16(月・祝) 65歳以上入館無料

*詳細は、ちひろ美術館ホームページでご案内します。

*イベント参加費のほか、別途入館料が必要です(高校生以下は入館料無料)。

*定員、参加費が記載されていないものは、参加自由、無料です。

*イベント名・日時・内容等は、予告なく変更する場合がございます。

●展示会期…2019年8月2日(金)～10月27日(日)

●開館時間…10:00～17:00(入館は閉館の30分前まで)

●休館日…月曜日(祝休日は開館、翌平日休館)※2019.8/2～8/25は無休

●入館料…大人800円/高校生以下無料

団体(有料入館者10名以上)、65歳以上の方、学生証をご提示の方、公式WEBサイト割引
特典提示の方は700円/障害者手帳ご提示の方は400円、介添えの方は1名まで無料
/視覚障害のある方は無料/年間パスポート2500円

●交通…◎西武新宿線上井草駅下車徒歩7分

◎JR中央線荻窪駅より西武バス石神井公園駅行き(荻14)上井草駅入口下車徒歩5分

◎西武池袋線石神井公園駅より西武バス荻窪駅行き(荻14)上井草駅入口下車徒歩5分

◎駐車場あり(乗用車3台・身障者用1台)

文化庁平成31年度地域と共働した博物館創造活動支援事業

●ちひろの水彩技法ワークショップ

「にじみの缶バッジづくり」

8/5(月)～8/7(水) 10:30～15:00

対象：5歳以上 定員：各80名(当日先着順)

参加費：無料(別途入館料)

●子どもギャラリートーク

8/19(月)11:00～/14:00～

対象：小中学生 参加自由、無料



●わらべうたあそび

9/7(土) 11:00～11:40

講師：服部雅子(西東京市もぐらの会代表、はとさん文庫主宰)

対象：0～2歳児と保護者

定員：15組30名 参加費：無料

*要申し込み 8/7(水)受付開始

●コンサート「音とにじむ」

9/28(土) 15:00～

演奏：mica bando ほか

対象：未就学児入場可 定員：25組50名

参加費：大人500円 *要申し込み 8/28(水)受付開始

●親業講演会

10/19(土) 10:30～12:30

講師：田中満智子(親業訓練協会インストラクター)

対象：大人(未就学児の同伴も可) 定員：40名 参加費：無料

*要申し込み 9/19(木)受付開始

次回展示予定 2019年11月1日(金)～2020年1月31日(金)

●<企画展> ふたりの女の物語 都とちひろ

写真を始めた28歳のときから、母の旧姓名を作家名として名乗ってきた写真家・石内都。石内は、「いわさきちひろ」の人生を知るにつれて、2歳しか年の違わない自分の母親「藤倉都」との重なりに気づきました。本展では石内の視点を通して、同じ時代の空気を吸って生きたふたりの女の物語が語られます。母の身体と肌身につけていた遺品を撮影したシリーズ「Mother's」とともに、石内がちひろの遺品を新たに撮り下ろしたシリーズも展示します。



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

ちひろ美術館・東京

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2

chihiro.jp



お問い合わせは、広報担当：入口・北村まで Email: publicity@chihiro.or.jp

テレホンガイド 03-3995-3001 TEL. 03-3995-0772(業務用) FAX 03-3995-0680